

香川県教育委員会 2月定例会会議録

1. 開催日時 令和2年2月6日(木)
開 会 午前 9時00分
閉 会 午前10時37分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名
教育長 工 代 祐 司
委 員 小 坂 真 智 子
委 員 平 野 美 紀
委 員 槇 田 實
委 員 藤 澤 茜

4. 教育長及び委員以外の出席者
理事 松 原 文 士
教育次長兼政策調整監 井 元 多 恵
総務課長 白 井 道 代
義務教育課長 小 柳 和 代
高校教育課長 金 子 達 雄
保健体育課長 宮 滝 寛 己
生涯学習・文化財課長 原 田 智
政策主幹兼総務課副課長 石 川 史 郎
総務課長補佐 岩 田 篤 志
義務教育課長補佐 高 尾 明 博
高校教育課長補佐 吉 田 智
高校教育課長補佐 吉 田 稔
保健体育課長補佐 渡 邊 浩 司
生涯学習・文化財課長補佐 中 川 聡 朗
教育センター教育研究課長 小 川 正 晃
総務課副主幹 秋 山 直 美
総務課副主幹 柳 澤 紀 子
義務教育課主任管理主事 西 原 明
義務教育課主任指導主事 九 郎 座 仁 美
義務教育課主任指導主事 小 山 圭

高校教育課副主幹	本田 実 治 博
高校教育課主任指導主事	佐 伯 卓 哉
高校教育課主任指導主事	笠 井 真 希 子
特別支援教育課主任指導主事	三 宅 貴 将
総務課主任	中 村 慎 一
高校教育課指導主事	川 東 芳 文
生涯学習・文化財課主事	山 下 詩 織

傍聴人 あり（1名）

5. 会議録の承認

1月定例会の会議録署名委員の藤澤委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第1号及びその他事項1は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「県の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」に、また、議案第2号は、同条第1号の「個人に関する情報であって、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあるもの」にそれぞれ該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

7. 議 案

○議案第1号 令和2年2月香川県議会定例会に提案される教育委員会関係議案に対する意見について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第2号 優秀な児童及び生徒に対する表彰について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第3号 香川県就学前教育振興指針(案)について

義務教育課長から、香川県就学前教育振興指針(案)の策定経緯、パブリックコメントの意見内容、第3回策定協議会後の主な修正箇所、今後のスケジュール

ルについて説明し、当該指針の策定について諮る旨、説明。

【質疑】

＜藤澤委員＞指針(案)の8ページに「ティーム保育」という文言が使われているが、別の箇所では「チーム」という文言が使われている。この両者の意味に何か違いがあって使い分けているのか。

＜義務教育課職員＞「幼稚園教育要領」の中で「ティーム保育」という用語として使われているため、その文言を使用している。「チーム」については、子どもが集団で「チーム」を作ってサッカーをするといった、一般的な用語として使用している。

＜教育長＞文部科学省が出す文書などでは「ティーム」と「チーム」を微妙に使い分けられているが、これは使い分けないといけないのか。

＜義務教育課長＞学校で教員全体という場合には「チーム」を使っているが、1クラスを複数の教員が指導することを「ティームティーチング」というように使い分けがある。文部科学省が学習指導要領で使用している文言なので、その用語については変更できない

＜教育長＞その文言の定義に意味があって、それを使い分けて説明しないと不都合が生じるのか。

＜義務教育課長＞特に問題はないと思う。どちらも英語では同じなので、カタカナ表記の問題だと考える。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第4号 博物館に相当する施設の指定について

生涯学習・文化財課長から、博物館法施行規則第20条に規定する指定要件及び「四国水族館」の概要について説明し、該当施設を博物館に相当する施設として指定することについて諮る旨、説明。

【質疑】

＜教育長＞学芸員の資格とは、何をもって学芸員の有資格者とすることができるのか。

＜生涯学習・文化財課職員＞博物館法が定めるところにより、大学において所定の博物館に関する科目の単位を修得することで有資格者となり、それぞれの大学で資格証が発行される。他にも資格を取る方法はある。

＜藤澤委員＞入館料はいくらなのか。

＜生涯学習・文化財課長＞大人2, 200円、小中学生1, 200円、3歳以上の幼児600円となっている。

＜教育長＞指定された場合、毎年度の報告書の徴求などはあるのか。

- ＜生涯学習・文化財課職員＞毎年度の定期的な報告書等の提出はないが、指定施設として相応しい運営ができていないという実態があったときは、適宜報告を求めるほか、立入り調査を行うなどの措置をとる。
- ＜平野委員＞小中学生が遠足で利用する場合など、利用料の団体割引はあるのか。
- ＜生涯学習・文化財課長＞20人以上の利用に対する団体割引のほか、学校団体割引料金を設定すると聞いている。
- ＜榎田委員＞施設については、税制面で何らかの優遇措置があるのか。
- ＜生涯学習・文化財課長＞博物館登録施設の場合は優遇措置があるが、博物館相当施設の場合はない。
- ＜教育長＞博物館相当施設の指定を受ければ、メリットとして文化庁のソフト事業の対象にはなるのか。
- ＜生涯学習・文化財課長＞対象になる。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

8. その他事項

- その他事項1 令和2年2月香川県議会定例会に提案される教育委員会関係議案（追加提案分）に対する意見について（非公開案件）

【質疑・意見交換】 無し

- その他事項2 令和元年度香川県学習状況調査報告書について

教育センター職員から、令和元年度香川県学習状況調査報告書の内容について説明。

【質疑・意見交換】

- ＜小坂委員＞報告書13ページのグラフで説明された自尊意識と学習状況の低下について、言語活動を活性化することで、少しは良い方向に持っていけるのではないかとのことであったが、今後の具体的な取組みについては、何か考えているのか。
- ＜教育センター職員＞言語活動はこれまでの調査でも見ていたが、今回の調査データを分析する中で、言語活動を重視した授業を行うことが、学習意欲に作用していると言えないのではないかとこのことを後から感じ、そのことをみんなに意識してもらうことで、学習意欲の低下を食い止めることができるのではないかと考えたものである
- ＜小坂委員＞特に今後の具体的な方策までは考えておらず、この分析結果から考えてもらおうということか。
- ＜教育センター職員＞分析結果から導き出されたものなので、まずは、そういうところを意識してもらうことを伝えていくことが、一つの手立てになるのでは

ないかと考えている。

＜教育長＞報告書 2 3 ページの「授業は楽しいと思いますか。」の質問について、中学校 2 年生は去年よりも上がっているが、報告書 1 3 ページの学習意欲についても去年より上がっているのか。

＜教育センター職員＞去年よりも上がっている。

＜教育長＞やはり「授業は楽しいと思いますか。」という質問の数値が上がれば、連動して学習意欲の数値も上がり、自尊意識も連動して上がるということか。

＜教育センター職員＞そういうデータが揃っている。

＜平野委員＞感想であるが、SNS を使うことで文章力が低下しているということについては同感である。大学生も SNS で短文だけのやり取りをすることで、文章が読めない、書けない、主語と述語が合わない、といったことが多くなっていると感じている。小中高校できちんと日本語を学ぶということは非常に大切だと思う。2 点目として、データを全国比較することで香川県の立ち位置がよく分かると思ったが、質問事項については連携されている一方で、報告書 1 2 ページの教科に関する調査結果は連携されていないのは、何か理由があるのか。

＜教育センター職員＞実施する時期、評価の方法、調査対象の学年が全国調査と異なることから連携させていない。

＜平野委員＞せっかくなので、連携できれば良いと思う。また、報告書 1 1 2 ページの校務改善の取組みについて、質問 3 9 や 4 0 の取組み状況は年々伸びているにもかかわらず、質問 4 1 の「生徒に向き合う時間の確保」の状況があまり変わっていないというのは、教員自身が効果を実感できておらず、かえって教員が疲弊してしまうのではないかと心配であるが、改善効果が表れるのにはある程度時間が必要なのか。

＜教育センター職員＞肯定的に回答している教員の割合は伸びているので、改善はしていると考えている。

○その他事項 3 令和 2 年度香川県立高松北中学校入学者選抜の実施状況について

高校教育課長から、令和 2 年度香川県立高松北中学校入学者選抜の実施状況について説明。

【質疑・意見交換】

＜小坂委員＞抽選による選考方式を取りやめてから 2 年が経過したが、以前と比べて校内の状況等に何か変化はあったか。

＜高校教育課長＞教員の感触として、以前に比べて学習意欲が高まっているとか、色んなものに積極的に取り組もうとする姿勢がみられるといったことを聞いており、良い方向に進んでいるのではないかと考えている。

＜榎田委員＞抽選による選考方式の場合、成績は良くても運悪く抽選に漏れてし

まうことがあるので、その抽選がなくなったことが、志願者数の増加につながったのではないかと思うが、そういった分析はしていないのか。

<高校教育課長>なかなか分析し難いところであるが、感触としては、受検する側としても最終選考が抽選ということに対して若干の不満があったのではないかと思うので、実力で選抜される方法に変わったことは、肯定的に受け取られていると考えている。

○その他事項4 令和2年度香川県公立高等学校入学者選抜自己推薦選抜の実施状況について

高校教育課長から、令和2年度香川県公立高等学校入学者選抜の実施状況について説明。

【質疑・意見交換】

<平野委員>欠席者が15名で、人数的に結構多いと思うのだが、欠席理由はインフルエンザか。他の理由なのか。

<高校教育課長>欠席者数は、その年によってまちまちであるが、昨年度は9名、一昨年度は19名であった。その内、体調不良による欠席者は、今年度は15名の内10名と聞いている。体調不良以外の欠席理由としては、私立高校に合格したことで進路を変更するなど、他校への進学によるものが多い。

○その他事項5 第74回香川丸亀国際ハーフマラソン大会の結果について

保健体育課長から、第74回香川丸亀国際ハーフマラソン大会の結果について説明。

【質疑・意見交換】 無し